

かつらぎ

KATSURAGI

人と自然と歴史を結ぶ、
住みたいまち葛城の創造

緑あふれる山々、古から培われてきた歴史や文化
それらすべてがこの地の人々によって結ばれてきた
今、葛城の名のもとに新たな歴史が結び合わされてゆく

奈良県

葛城市市勢要覧



空からの葛城模様



葛城山と二上山のふと
ころに抱かれながら、古
来より「葛城」と呼ばれ
発展してきた大地。平成
16年10月1日、北葛城
郡新庄町・當麻町が結
ばれ、新しく葛城市が誕
生した。



悠久の時を刻む大地の上で、歴史と文化の結晶が輝く。
山々のふもとに広がる、
この2つのまちではぐくまれてきた人々の心
それらが今、結束する。
この地で生きるよろこびを分かち合っていていく人々は、
その想いを込めて、
培ってきた時の結晶に、新たな葛城市の未来を、
一つ一つ結び合わせていく。

CONTENTS

空からの葛城模様 … 1
プロローグ・発刊のあいさつ … 2

第1章 時の結晶 — まちの歴史編 — … 4

[自然] 葛城山と二上山 … 6
[文化財] 當麻寺 … 8
[文化財] 過去へのいざない … 10
[街道] 古人が繋いだ道 … 12
[相撲] 天覧相撲の起源 … 14
[コラム] かつらぎ縁の先人たち … 16

第2章 結束する想い — まちの文化・人編 — … 18

[祭り・イベント] にぎわう祭りのとき … 20
[菊栽培] 日本一の二輪菊 … 22
[花のあるまちづくり] ぐらし潤う花が咲く … 24
[施設 (公園)] ふれあい憩いの場所 … 26
[コラム] ひろがる葛城の縁 … 28

第3章 未来を結う — まちづくり編 — … 30

[合併記念企画] 葛城市誕生 … 32
[まちづくり] 住みつけたいまち、住んでみたいまちの創造 … 34
[対談特別企画] 未来に結いあわせる想い … 46
[イラストマップ・施設紹介] 葛城結びマップ … 48

発刊のあいさつ



「住みつづけたいまち・住んでみたいいまち葛城市」をめざして

平成16年10月1日、旧新庄町と旧當麻町の2町が奈良県内初の合併により新市・葛城市が誕生致しました。

私たちのまち葛城市は、大阪市近郊という恵まれた地理的条件を備え、豊かな自然と古代からの歴史と文化の薫り高いまちとして輝いてまいりました。先人の尊いご努力と皆様のお力添えの賜物により築いてくださった素晴らしいこの地を「住みつづけたいまち・住んでみたいいまち葛城市」を基本理念に市民の皆様の英知とご協力を賜りながらこれからのまちづくりに取り組んでまいります。

この市勢要覧では、今ここにある私たちのまちのさまざまな姿を紹介しています。この快適な環境を大切に、歴史ロマンあふれる葛城市の魅力の本誌からお伝えできれば幸いです。

葛城市長 吉川 義彦



葛城市の位置と地勢

葛城市は、奈良盆地の南西部、奈良県の北西部に位置し、北は香芝市、東は大和高田市、南は御所市の各市と、西は金剛生駒紀泉国定公園をはさんで大阪府南河内郡太子町などと隣接している。金剛・葛城・二上西部の山並みと東に広がる低平な沖積地で構成されたまち。



まちの歴史編

時の結晶

母なる山、葛城山と二上山に抱かれて、少しずつ結び合わされてきた歴史。
長い長い時を越え、形つくられてきたこれらの宝は、
輝く結晶のごとく光りを放ち、今もなお我々の心を魅了し続ける。

葛城山

かつらぎさん

葛城山では貴重な古墳が数多く発見されている。また、万葉集にも歌われ、昔から人々の生活と関わりの深い山である。

葛城山と二上山

巡りゆく季節の中、きらめく山々の姿がこの地に生きた人々を魅了してきたのでしょう。まちの西側には、美しい葛城山と二上山がたたずみ、万葉集には山そのものを愛でた歌がいくつも収められています。

葛城山の山上台地に広がる葛城高原では、5月初旬からツツジが咲き乱れ、辺りは紅一色に染まります。また、二上山の山頂には万葉歌人の一人、大津皇子おおつみの墓があります。

二上山

にじょうざん

二上山は、奈良盆地の西を南北に走る金剛生駒連峰の中心に位置している。雄岳と雌岳大小2つの峰を持つ、美しい形をした山。



時の結晶

ときのけっしょう

當麻寺

1300年以上の歴史を誇る名刹當麻寺。本堂をはじめ、白鳳文化をしのぼせる国宝級の遺産がわたしたちを出迎える。

天平建築の偉観

二上山の南東のふもとに、白鳳時代の栄華を今に伝える伽藍の寺、當麻寺があります。この寺の始まりは、用明天皇の皇子麻呂子親王が推古天皇20年（612）に「万法藏院禪林寺」と

弥勒仏坐像（金堂）
塑像の表面に布をはり、漆の上を金箔で仕上げるといった大変珍しい坐像。白鳳時代のもの。





まんだら 曼荼羅と中将姫

當麻寺本堂内には、當麻曼荼羅厨子や中将姫坐像などが安置されている。曼荼羅は破損がひどいため、3度の転写が行われた。現在、中将姫が織ったとされる原本は宝庫に秘蔵されている。



東塔と西塔

東西の三重塔がそろって立つ風景は、奈良時代の面影をそのまま今に伝えている。



いう寺を営んだことにあります。その後、天武天皇白鳳9年(681)に親王の孫である當麻真人^{たのみまほと}に国見^{くにみ}によって今の場所に移建され、現在の當麻寺と改められました。
仁王門をくぐり抜けると、国宝指定の本堂をはじめ、東塔・西塔や重要文化財指定の金堂、講堂などが伽藍配置で建ち並びます。その姿は、別名曼荼羅堂^{まんだらどう}と呼ばれる本堂を中心に、當麻曼荼羅への信仰が高まった鎌倉時代の繁栄を物語り、天平建築の堂々たる偉観をただよわせています。毎年4月下旬を過ぎると、境内にはボタンが咲き始め、静かな趣に彩りがそえられます。





葛城の地に宿る、先人たちの深い想いとその足跡を伝える貴重な遺産。たたく歴史の語り部たちが、わたしたちを過去へといざなう。

過天の 宿る中将姫の想い

宿る中将姫の想い

中 将姫伝説を今に伝える葛城市には、練供養会式が行われる當麻寺をはじめ、中将姫にゆかりの深い寺院が点在しています。

「往生要集」をあらわして浄土信仰を確立した、歴史上名高い人物、源信（恵心僧都）。源信は、當麻寺の中将姫練供養会式を始めた人で、高雄寺には、この源信の生誕説が伝えられています。また、高雄寺跡近くに建つ収蔵庫には、一木彫の観音菩薩立像や、授乳・難聴の人々に霊験がある薬師如来坐像など、重要文化財に指定されている仏像が現在も大切に保存されています。

ます。

石光寺は、天平宝字7年（763）に中将姫が蓮糸を5色に洗い染め、曼荼羅を織り上げたことから、「染寺」とも呼ばれています。境内には、中将姫が使った染井があり、また、曼荼羅の残りの糸でつくった来迎三尊像も現存しています。この寺は當麻寺と同じくポタンが有名で、11月中旬から咲き始める寒ポタンも見もの。當麻寺とともに、高雄寺や石光寺をめぐる多々、中将姫をはじめとする多くの人々が抱いた、浄土信仰への深い想いを感じ取ることが出来ます。



高雄寺跡(上) / ありし日の高雄寺(右) / 石光寺(右下)
源信の誕生伝説が残る高雄寺は、平成11年に焼失し、現在は礎石だけが残っている。石光寺は天智天皇の時代、この土地の光を放つ石に本尊弥勒菩薩が彫刻され、創建された。





博西神社／村井家住宅／葛木坐火雷神社（笛吹神社）

南北両殿をつなぐ珍しい建築様式の博西神社には、氏神として布施氏まつられている。この博西神社とともに、江戸時代を代表する大和棟の民家である村井家住宅は、国の重要文化財に指定されている。博西神社と同様に古く、人々から「笛吹神社」と呼ばれ親しまれている葛木坐火雷神社は、笛吹を職とする一族の氏神、火雷神と天香山彦命をまつる。

その昔中世のころ、葛城市
 一帯は布施氏という武士
 の根拠地でした。布施氏は、大
 和国（現在の奈良県）の中で最も
 有力な武士でしたが、江戸時代
 が始まる前に、歴史の大きな変
 化とともに減んでしまいました。
 このようにこの地域の中心と
 して、古くから発展を遂げてき
 た葛城市には、大和文化たたくよ
 貴重な文化遺産がたくさん残っ
 ています。先人たちが残してき
 た足跡をたずねてみると、ふる
 さとの奥深い歴史がわたしたち
 を過去へと心地よくいざなっ
 てくれます。



屋敷山古墳

全長約135mの前方後円墳で、5世紀中ごろのもの。長持形石棺が納められていたと推測され、槍先やガラス小玉なども発掘されている。国指定の史跡。



二塚古墳

全長60mの前方後円墳で、国指定の史跡。6世紀中ごろのものと考えられ、後円部、前方部、造り出し部の3カ所には横穴式石室がある。

置恩寺十一面観音立像

11世紀初めごろにつくられたもので、国の重要文化財に指定されている。左手に水瓶を持った立派な姿は、当時の様式をよく表わしている。





竹内峠

金剛山地を通る竹内峠は、明治時代中ごろまで竹内街道の要所としてにぎわった。

いにしえびと

つな 繋いだ道 古人が

時の結晶

ときのけっしょう

道の変遷とともに発展してきた葛城。往時のにぎわいを彷彿させる街道は、古に生きた人たちによって踏みしめられた歴史そのもの。



葛城を巡る道の歴史

奈良

良盆地の南西部に位置する葛城市、はるか昔から「葛城」と呼ばれ繁栄してきた地域です。西に金剛生駒紀泉国定公園をはさんで大阪府河内地域と隣接し、南は和歌山県との県境に近いため、

古くから人や物の往来が盛んでした。

市内には往時のしるべき道が通る、中でも竹内街道は、推古天皇の時代につくられた大和と河内を結ぶ重要な

道路で、日本最初の官道であることが「日本書紀」に記されています。街道沿いには、大和棟の古い民家や道標が往時の面影をひっそりとたたよわせ、古人の息づかいや足音が今にも聞こえてきそうな歴史の深さを感じられます。

時代によって高野山参詣への道は異なりますが、そのほか、市内に残る高野街道もその一つに数えられています。また、下街道は奈良と京都を結ぶ主要幹線道路として利用された道です。時の流れとともに周りの景色が変わっても、その礎には古人が繋いできた道の歴史がしっかりと根づいているのです。



高野街道(下) / 下街道(上)

高野街道は、和歌山県の高野山へと続く信仰の道。高野街道に並行して市内を通るのが下街道で、奈良と京都をつなぐ道である。



大きな力士の力と力がぶつかり合う相撲。国技の原点がここにあった。

天覧相撲の起源

国技の歴史を学ぶ

日 本の国技として世界的にも有名な相撲は、だれもがよく知っているスポーツの一つです。しかし、相撲の歴史については意外と知られていないもので、実はそのルーツが葛城市にあるのです。

日本書紀によると、垂仁天皇

の時代に、自らの力を自慢していた當麻蹶速（たいままけはやく）という男がいました。天皇は出雲より野見宿禰（のみのすくね）という男を呼び寄せ、蹶速と力比べをさせました。これが日本で初めて行われた天覧相撲です。力闘の末、

蹶速は負けてしまいました。現在も蹶速の墓は、蹶速塚として市内に残っています。伝承の上で、蹶速は高慢な人物になっていますが、実際は素朴で野性的な性格だったようで、土地の人々からは親しみを持たれていました。

この相撲の開祖、蹶速にちなみ、蹶速塚近くに建てられたのが葛城市相撲館「けはや座」。相撲発祥の地で日本古来の伝統格技を伝承し、その歴史を学び知ってもらうための施設で、館内には、本場所と同じサイズの土俵があります。土俵正面には、ます席や観覧席もあり、本物さながらのどっしりとした相撲の臨場感が伝わってきます。



葛城市相撲館「けはや座」

平成2年にオープンしたこの施設は、相撲資料を集めたものとしては全国的に珍しく、相撲の歴史や郷土を代表する力士の資料が展示されている。

相撲発祥の地、葛城は、その起源を大切に守り伝え、そして、たくさんの人々が伝統の国技、相撲の歴史を知ることのできるまちなのです。

天覧相撲（蹶速と宿禰）

初めて天覧相撲を行った、蹶速と宿禰の力比べが描かれた作品が、葛城市相撲館「けはや座」に保存・展示されている。2人の力強い力闘がよく表現されている。





柿本人麻呂

かきのもこのひとまろ



木造人麻呂像
柿本神社に伝わる木造人麻呂像。はめ込み式の首が、夜になると月の出る方角を向くといわれている。



三十六歌仙の一人 「万葉集」第二級歌人

柿 本人麻呂は、飛鳥時代の第一級歌人です。序詞、枕詞、押韻などを駆使した格調高い歌

風で、その後の千数百年におよぶ、自らの感情を短歌に込める作風の基礎を築きました。人麻呂の生涯は明らかにされていませんが、草壁皇子の舎人として、石見国の役人となり各地

を転々としていた間に亡くなったとされています。

葛城市は人麻呂生誕の地と伝えられ、市内には人麻呂をまつた柿本神社があります。この神社は、宝亀元年（770）に人麻呂を改葬し、そのかたわらに社殿を建てたのが始まりといわれています。

先人の熱き想いを伝える

葛城に宿る郷土を愛す人々の心。その想いが輝かしい作品となって世に出された。彼らが残した功績は、今なお語り継がれている。

前川佐美雄

まえかわさみお



葛城の地を愛した 日本歌壇の旗手

明 治36年（1903）葛城市忍海に生まれた前川佐美雄は、東洋大学東洋文学科に入学、在学中に佐佐木信綱に師

事し、戦前、戦中、戦後を通し、歌壇の旗手として活躍した歌人です。昭和5年に第1歌集「植物祭」を刊行、モダンズム歌人として歌壇に登場した彼は、その後

数々の作品を手掛け、大和の美を統一した世界を築き、優美で詩的直感の鋭い独自の歌風を確立しました。

彼の輝かしい功績がたたえられ、昭和61年には旧新庄町名誉町民、平成元年には日本芸術院会員に選ばれましたが、平成2年に惜しまれながら他界しました。



新庄歌壇作品集
万葉歌人柿本人麻呂と日本芸術院会員の前川佐美雄、2人の偉大な歌人を記念し、平成9年から「新庄歌壇」を設立している。

俳

聖と呼ばれ、俳諧の歴史における最初の偉大な作家として知られる松尾芭蕉。3大旅行記の一つ「野ざらし紀行」で、芭蕉は旅を共にした葛城市竹内出身の千里のことをほめ、千里の俳句も載せています。千里は、芭蕉からあつく信頼を寄せられていた門人で、芭蕉を誘い何度も葛城の地を訪れました。



芭蕉はその都度、数々の名句を残しています。特に有名なものが、「綿弓や琵琶になぐさむ竹の奥」という句で、文化年間(1804〜18)に建てられた句碑が今も綿弓塚として竹内街道沿いに残っています。

千里とともに 竹内へ訪れた俳人



門人千里の句碑
芭蕉の綿弓塚近くに、「野ざらし紀行」にも掲載された門人千里の句碑がある。

松尾芭蕉

まつおばけいし

時の結晶 かつらぎ縁の先人たち

母

親の実家があった葛城市竹内で幼少時代を過ごし作家、司馬遼太郎。葛城山麓の里の風景は、彼が故郷と感じる場所でもあります。

その後、筆を振るうようになった彼は、昭和35年に『梟の城』で直木賞、昭和50年に日本芸術院賞恩賜賞、そして平成5年に文化勲章を受賞しました。また、著書『街道をゆく』では、葛城の風景を美しいと語っているものもあり、彼のふるさとへの想いを垣間見ることができるといえる作品です。

故郷の美しさを 綴った作家



司馬遼太郎
ふくだていいち
本名、福田定一。大正12年(1923)、大阪府大阪市生まれ。平成8年に他界するまで、歴史小説を中心に多くの著書を出している。



司馬遼太郎

しまたりょうたろう

まちの文化・人編

結束する想い

ふるさとを愛する、宮城人一人ひとりの温かい心は、
はるか昔から途絶えることなく、脈々と受け継がれてきたもの。
そして新しい時代を迎え、人々の想いが今、一つに結束する。





にぎわう

祭りのよき

伝統を大切に守り、人々のにぎわう声が響きわたる祭り。ふるさとを愛するすべての心がここにあった。

まち中に響くにぎわい

地域の人々が集い、ふれあう祭りは毎年変わることなくとり行われ、この時ばかりはまちの熱気を最も感じられる瞬間となります。1000回を超える當麻寺の中将姫練供養会式は、多くの参拝者でにぎわう年中行事の一つで、中将姫が現身のまま成仏したという伝承を再現したものです。一番太鼓と鐘の音が鳴り響くと、當麻寺の境内にかけられた橋の上を神輿みこしにのせた中将姫坐像が寺僧に導かれながら極楽堂（本堂）へと帰っていきまます。黄金の面をかぶり、装束に身を固めた二十五菩薩とともに

に練り歩く姿は、極楽浄土を表しているかのようで、会場は幻想的な雰囲気にも包まれています。脈々と地域の人々によって守り伝えられてきた中将姫練供養会式のほかにも、春の彩りが美しい公園まつりや天覧相撲発祥の地になんただけはやまつり、露店が並び、大輪の花火が打ち上げられる納涼花火大会など、人々のにぎわう声がかまごまに響きわたるさまざまな祭りが1年を通して行われています。



公園まつり
毎年5月に開催される公園まつりには、物産店などの露店が並び、多くの人でにぎわう。



けはやまつり
相撲開祖と知られる當麻たいまけ速の塚では、物故力士追善法要など、けはやまつりが7月に行われる。



文化とコミュニティまつり
11月3日の文化の日に開催される祭りでは、勢いのある太鼓や踊りなどの催し物、多種多様な模擬店などが出され、當麻庁舎前の広場には多くの人が集まる。

インタビュー
あらはり みゆき
荒張美幸さん

広がる葛城の活動

小学校の先生たちと一緒に模擬店を開いているのですが、葛城市にも多くの人が参加するようになりましたね。お客さんはもちろん、わたしたちPTAも和気あいあいと楽しく出店させていただし、申し訳ないくらいです。葛城市になってさまざまな祭りやイベントが増えただけでなく、まちの可能性も広がっていますよ。わたしたちも「かつらぎっ子」のびのびと育つまちづくりを通して活動を通して参画していきたいと思っています。

小学校の先生たちと一緒に模擬店を開いているのですが、葛城市にも多くの人が参加するようになりましたね。お客さんはもちろん、わたしたちPTAも和気あいあいと楽しく出店させていただし、申し訳ないくらいです。葛城市になってさまざまな祭りやイベントが増えただけでなく、まちの可能性も広がっていますよ。わたしたちも「かつらぎっ子」のびのびと育つまちづくりを通して活動を通して参画していきたいと思っています。



練供養会式

平安時代、寛弘2年（1005）に源信が始めたと伝えられるこの行事は、毎年5月14日の午後4時から二上山に傾く夕陽を背景に行われる。

納涼花火大会

7月15日の住吉神社夏祭りと同じ日に行われている。およそ3000発もの花火が観覧席のすぐそばで打ち上げられ、その迫力は圧巻。



日本一の 二輪菊

日本を象徴する花である菊。その中でも、2つのかわいい花を咲かせるのは二輪菊。人々が丹精込めて育てる葛城の二輪菊は、まちが誇れる日本一。



日本一の葛城ブランド

「千手かければ千に咲く」といわれるように、1本1本我が子のように丹精込めて育て上げた菊には、立派な花が咲くといえます。日本の象徴とも呼ばれる菊の名産地、ここ葛城市では、1本の茎に2輪ずつ咲く「二輪菊」という品種の栽培が盛んで、その生産量は日本一を誇っています。

そもそも葛城市で菊栽培が行われるようになったのは、大正時代の終わりごろ、大阪より菊づくりの製法が伝わったことに始まります。葛城市は、東向き斜面の山麓地帯に位置している



ため日没が早く、日照条件や昼夜の気温の差が大きいたが菊の栽培に適していたのです。その後、菊栽培はますます盛んに営まれるようになり、昭和50年代には、地域の人々の「ブランドを確立していきたい」という熱い想いから本格的な二輪菊づくりが始まりました。二輪の花

を持つ二輪菊は1本1本ていねいに芽かきをするなど、大変手間暇がかかりま



すが、やはり「千手かければ千に咲く」といわれるだけあって、徹底した品質管理のおかげで、美しい花々が生産でき、評判を得ています。

まちでは、平成13年より市内の新庄疋田郵便局で二輪菊をあらった消印を採用するなど、市外へとその魅力を伝え、日本一の葛城ブランドの確立に向けて頑張っています。



菊栽培

葛城市では、日々菊の研究に取り組んでいる。現在、付加価値の高い葛城ブランドを確立するため新品種の開発に励んでいる。

二輪菊消印

葛城市の特産、二輪菊をPRするため、重陽の節句にあたる9月9日に記念消印つきの郵便物が発送されています。重陽の節句は、別名「菊の節句」といわれ、平安時代、貴族たちは宮廷で邪気を払い、長寿を願って菊を飾り、うたげを楽しんだといわれています。二輪菊の記念消印は、新庄疋田郵便局で押すことができます。





インタビュー

さかた ひさのり
坂田 久典さん

て出荷するシステム
のことです。組合で
情報共有ができるん
で、菊の質を落とさ
ず、しっかりと花
がたくさん出荷でき
ています。これから
もっと、日本全国に葛城ブラン
ドを広めていきたいですね。



品質を高める「共選」

葛城の菊の特徴
はというと、常に
高い品質を維持し
ているってことか
な。そのために
「共選」という珍
しい選別方法で菊を
出荷しているん
ですが、共選とは園
芸組合ごとに共同
で選別や検品をし





みんなの森造成事業のボランティア活動

現在まで、市内におよそ200本もの桜を植樹している。市内には新しい桜の名所がつけられ、にぎわっている。



みんなの森造成事業

平成11年から始まったみんなの森造成事業では、毎年実施地区を決め桜の植樹を行っている。4月になると、各地区で桜の花が満開になる。

くらし潤う

日々のくらしに潤いを与える花たち。人々の心がはぐくみ、まちを彩っている。

花が咲く

葛城にくらす魅力

巡りゆく季節の中、時を忘れずに必ず咲く花々は、いつもわたしたちの心を癒してくれます。歴史感ただよう山々の東に広がる葛城市は、緑が豊富で、まちを歩いていると色とりどりに咲く花たちに思わず足を止めてしまいます。四

季折々の陽気に誘われて、花のある風景を散歩できるのも葛城市に住む魅力の一つ。

まちでは、花のあるまちづくりを進め、市民が中心となり、花いっぱい運動をはじめとしたさまざまな活動を行っています。花卉栽培が盛んな葛城ならではのこれらの活動は、まちに暮らし、まちを愛する多くの人たちの想いで始まりました。この活動を通して、まちを訪れる多くの人々に潤いのある「葛城でくらす」魅力を伝えていくことが願いなのです。

梅の木坂／コスモス

平成17年に名づけられた梅の木坂には、人々の「地域のシンボルになれば」との想いから坂沿いに梅の木を植樹している。また、稲刈り後の田園にコスモスの種をまき、花畑にする地区もある。





インタビュー

おだちあきとし
小立 晶敏さん

花いっぱい葛城に

花いっぱい運動は、市内の公民館などでそれぞれ活動しています。地区ごとにオリジナルの取り組みがあるのですが、わたしの地区では公民館の敷地内にある花壇やフェンスにプランターなどを使って花を植えています。公民館の前を通る人や近所の人たちは必ず足を止めて見ていますね。初めは花の名前なんて全然知らなかったのですが、最近では花の心まで読みとれるようになった気がしています。この活動をきっかけに、もっともっと花いっぱいの葛城になってほしいですね。





葛城山麓公園

葛城山のふもとに位置する広大な緑地公園。四季を通じてツツジや桜、シャクナゲなどの花が楽しめる。

ふれあいの憩いの場所

葛城山と二上山に抱かれた大地で、自然を生かし人々がふれあう場所。花と緑あふれる公園で、憩いのひとときを。

自然と歴史と文化の調和

ほかほかした陽気に誘われて「ちよつとそこまで散歩に出てみよう」と思ったことはありませんか。葛城市には自然を生かした人々の憩いの場所、緑いっばいの公園が点在しています。

葛城山のふもとにある屋敷山公園は、屋敷山古墳を中心にした総面積5万8千㎡の総合史跡公園です。敷地内には中央公民館や市民体育館などがあり、文化とスポーツの拠点となっています。屋敷山公園と同じように二上山のふもとに広がるのが二上山ふるさと公園です。7千㎡

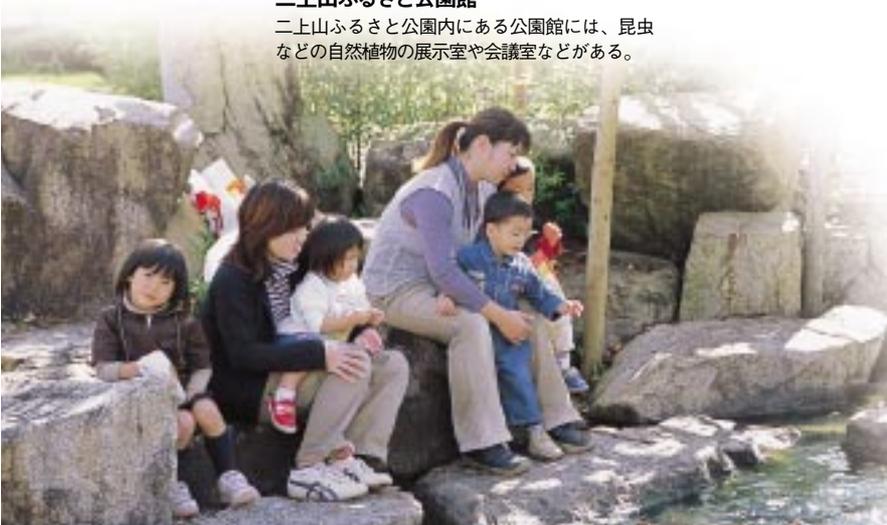


二上山ふるさと公園館

二上山ふるさと公園内にある公園館には、昆虫などの自然植物の展示室や会議室などがある。

の広さを擁する大芝生広場では、子どもたちが思いっきり遊べ、また、その片隅には、からくり時計が見もののおもちゃ館があります。そのほか公園館や展望台など、大人も童心に返ってしまふほど1日中遊べる公園になっています。

自然と歴史と文化が絶妙に調和した葛城の公園施設、今では地域の人々のふれあいと憩いの場所になっています。





屋敷山公園

二上山ふるさと公園



結束する想い

ひろがる

葛城の縁

えにし

ふれあいを通し、互いの伝統や文化を分かち合うことで、
元気な笑顔いつばいのまちになる。
葛城が結んだ縁は、全国へと広がっている。

結びつき



未来を拓く米どころのまち

当麻町は、北海道のほぼ中央に位置し、日本最大の山岳国立公園、大雪山国立公園のふもとにある、豊かな森林と肥沃な大地に恵まれたまちです。

はるか古から受け継がれてきたフロンティアスピリッツを誇りに、北海道一の米どころとして有名です。



蟠龍まつりinとうま
まちの発展を願い、当麻町の守り神である2頭の龍へ感謝の気持ちを捧げるための祭り。毎年8月に開催されている。

当麻町

北海道上川郡

新庄市

山形県

にぎわう雪のふるさと

栗駒国立公園の神室連峰がそびえ、北西に霊峰鳥海山を望む山々に囲まれた新庄市。最上川の水路と陸路を結ぶ要衝から、道路と鉄道の交わる高速交通網の要衝へと発展し、山形県最上地方の中心都市として栄え続けてきたまちです。豊かな伝統と文化が息づき、全国に祭りや雪のふるさとを発信しています。

新庄まつり



あじさいの杜



JR新庄駅・ゆめりあ
「最上広域交流センター ゆめりあ」や「からくり人形」を併設した山形新幹線のターミナル駅。

新庄村

岡山県真庭郡

三百選の里の美しき自然

新庄村は、出雲街道随一の難所、四十曲峠のふもとに位置し、街道の要衝「新庄宿」として繁栄してきたまちです。また、新庄宿を流れる水路は、環境庁指定の「日本の音風景百選」、毛無山のブナ林やカタクリの花の香りは「日本の水源の森百選」「日本のおおき風景百選」に選ばれています。



がいせん桜祭り
137本のソメイヨシノが並ぶがいせん桜通りで毎年4月下旬に行われる春の風物詩。



男滝



脇本陣木代邸

まちづくり編

未来を結う

この地でくらすすべての人が住んでいてよかったと思える暮らしに。

新たな時代を迎えた今、人々の願いが重なった。

この想いが結いてゆくように、未来へと希望を結い合わせていく。



KATSURAGI



快適でうるおいのあるまちづくり

都市公園の施設や道路網の整備、コミュニティバスの利便性の向上、また、下水道の整備に努めている。



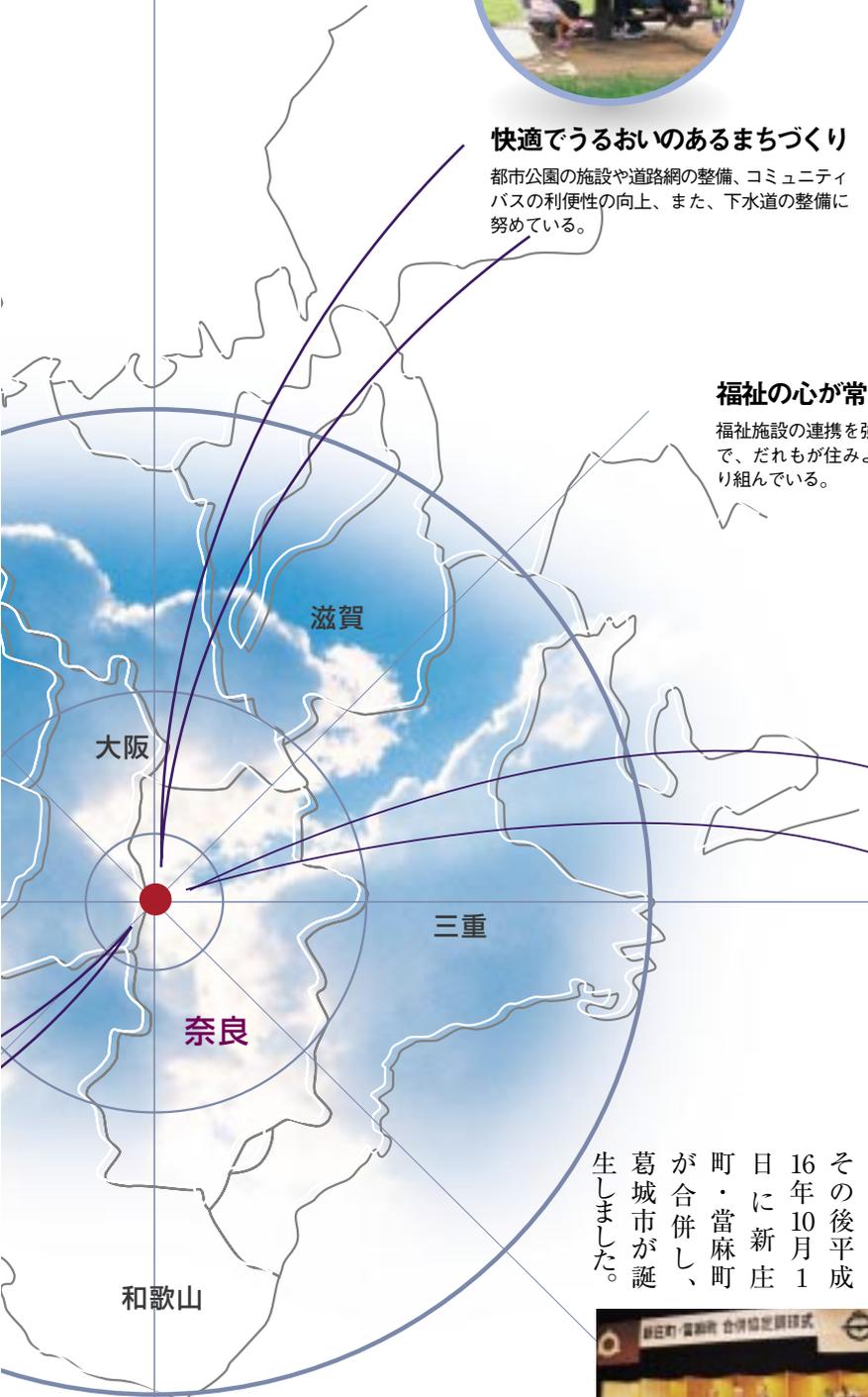
福祉の心が常に息づくまちづくり

福祉施設の連携を強め、子どもから高齢者まで、だれもが住みよい福祉のまちづくりに取り組んでいる。



自然とくらしをまもり、歴史と文化を活かすまちづくり

美しい自然と歴史的文化的遺産を守るため、景観保全に努め、また、安全で安心な環境づくりに取り組んでいる。



葛城市誕生までの歩み

隣り合う旧新庄町と旧當麻町は、歴史的にも文化的にも、そして生活の面においても同じような特徴を持ち、また、それぞれに深い結びつきがあるまちです。都市基盤については、大和高田バイパスをはじめ、南阪奈道路などの広域的な幹線道路整備が進むことで、両町のよりいっそうの連携が求められてきました。

そのような中、平成14年4月に新庄町・當麻町の法定協議会が設置され、その後平成16年10月1日に新庄町・當麻町が合併し、葛城市が誕生しました。



新庄町

万葉集にも歌われた葛城山を背に、古代から葛城地域の中心地として発展してきた新庄町は、中世には有力武士布施氏の根拠地でした。また、生産量日本一を誇る二輪菊をはじめとした花卉栽培が盛んなまちです。



葛城市の誕生

葛城市は「住みつづけたいまち 住んでみたいいまち」の創造を目指します。

新しい都市の創造

新しく誕生した葛城市が目指すまちとは、健康福祉のまちです。これに対するまちづくりの課題を「恵まれた自然と生活環境の中で、地域で支え合い、安心で住みよい、活力のあるまちづくり・人づくり」として、21世紀にふさわしい人と自然と歴史をはぐくむ文化的な都市を創造していきます。



住民の皆様との対話と協働による新しいまちづくり

積極的に市民の声を市政に取り入れ、住みよいまちづくりに取り組んでいる。



輝く未来のための教育に全力を注ぐまちづくり

生涯学習や学校教育の相談体制整備、英語指導助手による国際理解教育を進めている。



誕生記念式典

平成17年2月、葛城市制施行を祝い、誕生記念式典が盛大にとり行われた。葛城市の今後の飛躍が期待されている。



産業の振興による活力みなぎるまちづくり

南阪奈道路の開通による利便性を生かし、観光産業の振興や企業誘致、特産品のPRに取り組んでいる。

当麻町

大和国と河内国を結ぶ交通の要衝として栄えた当麻町には、日本最初の官道といわれる竹内街道や中将姫伝説が残る当麻寺など、歴史を感じさせる文化遺産がたくさんあります。また、天覧相撲発祥の地としても有名です。





南阪奈道路・大和高田バイパス
南阪奈道路・大和高田バイパスの完成により、本市の交通アクセスの向上が期待されている。

〔生活・都市基盤〕

快適でつるおいのあるまち

まちづくり

このまちに住むすべての人たちに、快適で住みやすいところだと感じてほしい。そのため、今進めている葛城のまちづくりとは。

快適なまちづくり

快 適でゆとりある生活は、住みよい環境づくりが基本です。

葛城市では、南阪奈道路・大和高田バイパスの開通が交通渋滞の緩和や地域の振興につながるものと考え、その利便性を生かして一般道路網の整備に取り組んでいます。また、下水道の整備なども進め、衛生的な環境づくりを目指しています。

屋敷山公園や二上山ふるさと公園などの都市公園は、水と緑あふれる交流と憩いの場になっています。だれもが集う公園づくりを目指して、利用しやすい施設整備を進めています。



屋敷山公園



二上山ふるさと公園



下水道整備事業

人々の生活に欠かせない生活関連事業の基盤である下水道整備事業。早期完成を目指し、着々と進められている。



水道事業

市民生活のライフラインである水道事業。特に水質検査については、細心の注意がなされている。



公園でのふれあい風景

市内には、屋敷山公園や二上山ふるさと公園などの市民がのびのびと過ごせる都市公園がある。



世代間交流

子どもから高齢者までさまざまな世代の人に、ふれあいの中からお互いに学べる機会を提供している。

〔保健・福祉〕

福祉の心が

常に息づくまちづくり

人々にとって幸せな暮らしとは、生涯を通じた健康と地域福祉の充実。そのため1番大切なことは、地域の温かい心づくり。

互いを思う地域福祉

人 々が健康で安らいだ生活を
送ることができるよう、保

健と福祉、そして医療が連携するネットワークづくりが大切です。そのために、一貫した保健医療体制の整備を図っています。

また、少子高齢化が進む中、市民だれもがいきいきと日々充実して過ごすことができるよう、高齢者福祉、障害者福祉、子育て支援、保健、医療などの各分野において、個人の自立を尊重しながら相互に支え合っているような地域福祉を総合的に推進する仕組みづくりを進めています。



いきいきセンター



福祉総合ステーション



葛城市健康ふれあいまつり

「健康づくりは幸せづくり」をテーマに開催される健康ふれあいまつり。恒例のウォーキングは大人気。



乳児健診

母子保健事業の一環として、乳幼児の心身の健康づくりのために、乳児健診を実施している。



葛城市歴史博物館

葛城市だけでなく、葛城地域、奈良県全体を視野に入れた、歴史・伝統・文化に関する展示を行っている。

【歴史・環境・くらし】

自然とくらしをまもり、

歴史と文化を活かすまちづくり

美しい自然に抱かれて、はぐくまれてきた悠久の歴史が息づく町並み。今と昔が共生する、魅力あふれるまちづくり。

魅力あるくらし

葛 城市の魅力の一つ、歴史的
文化遺産は、後世へと大切に

に守り伝えていくべきものです。まちでは、葛城市歴史博物館を情報発信拠点として、歴史のまちのPRに取り組んでいます。また、美しい自然と魅力ある町並み保存の観点から、衛生環境を充実するために、ごみの分別収集などによるリサイクル都市の実現を目指しています。

安全で安心してくらせるまちづくりを進めていくために、日ごろから市民一人ひとりの意識の高揚を図り、また、コミュニティによる活動の推進を行っています。



ごみ分別収集の取り組み



当麻リサイクルセンター



公開講座「葛城学へのいざない」
葛城市歴史博物館で開催している。毎回各方面より講師を迎え、さまざまなテーマで講演を行っている。



交通安全教室
子どもたちの交通事故防止のために、交通マナーや交通安全に対する意識の高揚などを目的に行っている。



葛城市商工まつり

毎年9月に行われる葛城市商工まつりは、商工会館周辺をメイン会場に、露店が並び、たくさんの催し物でにぎわう。

【産業・観光】

産業の振興による

活力みなぎるまちづくり

まちに活気を起こす地場産業は、固有の自然、歴史、文化を生かし、葛城の個性や魅力を創出している。

活力に満ちた産業

都 市の活力は、ここで展開される人々の日常生活や地域

活動、商業や工業、農業などの産業にあらわれます。

葛城市では、南阪奈自動車道が開通されたことで得られる大阪都市圏近郊の位置的なメリットを最大限に生かすべく、地域経済の活性化に努めています。

また、豊富な歴史的文化財と結びつけた観光産業の振興や企業誘致を行い、工業地域の充実、インターネットなどを活用した地場産業の振興を図り、活力に満ちたまちであり続けるための取り組みを進めています。



市内にある酒蔵



くつ下工場



近鉄新庄駅前公園



ねぎ栽培

市内のあちこちでは、農業が盛んに行われている。



工業地帯

葛城市では、大阪都市近郊の優位性を生かした各種産業が盛んに行われている。



地域公民館活動

葛城市中央公民館を中心に、毎回多彩なレクリエーションやスポーツ活動などを実施し、人々の学びとふれあいの機会にしている。

【教育・生涯学習】

輝く未来のための

教育に全力を注ぐまちづくり

市民の「学びたい」意欲を高め、より豊かな人間性を確立する人づくりは、葛城らしい魅力的なまちづくり。

人づくりはまちの基盤

ま ちに住み、まちをつくるのは「人」であり、人づくりはまちづくりの基盤となるものです。学校教育の中では、子どもたちの豊かな感性や自立心が培われ、また、文化、芸術、スポーツなどの生涯学習では精神的、文化的な豊かさがはぐくまれます。

未来を担う子どもたちが悩みを抱えることなくのびのびと成長できるように、学校教育においては、教育相談体制の充実や施設整備、国際理解教育などを行い、また、生涯学習では、魅力ある場づくりを目指し、取り組んでいます。



當麻太鼓白鳳座



かつらぎ太鼓



市立図書館



英語指導助手による授業風景

市内の幼稚園・小学校・中学校に外国語指導助手を配置し、英語に親しむ教育を展開している。



ふれあい女性セミナー

生涯学習のまちづくりの一環として、地域の人々の生きがいを目的にさまざまな活動を行っている。



市政モニター制度

行政サービスの満足度やニーズなど、市政に対する市民の意見や提案をモニター会議で聞き、まちづくりに取り入れている。

【議会・行政】

住民の皆様との対話と

協働による新しいまちづくり

じかに市民の声を聞くことで、可能性に満ちあふれたまちが創造されていく。
葛城市の輝く未来につながっている。

住みよいまちを

目指して

社 会状況が激しく変化し、経済情勢も厳しい現代社会の中で、葛城市が掲げたまちづくりの課題は「恵まれた自然と生活環境の中で、地域で支え合い、安心で住みよい、活力のあるまちづくり・人づくり」です。

まちづくりは、住民と行政が一体となり、住民の総意によって進められます。そのため、葛城市では、輝かしく住みよいまちを目指して市政モニター制度を確立し、市民の声を積極的に取り入れた新しいまちづくりを進めています。



葛城市役所當麻庁舎



葛城市役所新庄庁舎



議会側



行政側

未来に結いあわせる想い

平成17年11月15日実施

葛城市が誕生したことで、今後予想される効果

【市長】吉川義彦と申します。皆さんご存知の通り、平成16年から市長をしております。昨年新庄町と葛城市が合併し、葛城市が誕生しました。

今日は、葛城市の魅力であったり、皆さん自身の将来の夢などを語っていただけたらと思っています。それでは、自己紹介をお願いします。



【瀬川】新庄中学校の瀬川浩輔といます。生徒会書記をやっています。【朝隈】新庄中学校の朝隈芽生です。剣道部のキャプテンをやっています。【饒波】白鳳中学校の饒波拓人です。水泳部に入っています。【仲川】白鳳中学校の仲川純世です。部活は吹奏楽部です。

【市長】ありがとうございます。それでは、本題に入ります。わたしが考える葛城市の今後の発展についてですが、旧両町に共通する歴史や文化遺産などの地域資源を活用する方法がいろいろあるのではないかと思っています。また、合

併により市域が広がり、多くの交流が生まれることで調和したまちづくりができるのではないかと、ま

ちの可能性を確信しています。中学生の皆さんは市になって何か変わったと感じることはありますか？

【瀬川】市になったことが未だに不思議な感覚なのですが、自転車であち中を走って旧當麻町に入ったとき、「ここも自分のま

ちなんだなあ」と、気持ちが大きくなったことをうれしく感じることがあります。【仲川】わたしの父が旧新庄町に勤めていたこともあり、前々から旧新庄町の歴史や文化に興味を持っていたのですが、葛城市になって身近に感じ、さらに興味深くなりました。

新生、葛城市の魅力

【市長】皆さんそれぞれに葛城市に対する感じ方があるようですね。では、葛城市の今一番の魅力は何だと思いますか？

【瀬川】葛城市の魅力は菊だと思

【市長】そうですね。今現在のこうした魅力を大事にしなが

【朝隈】周りのまちは工業が発達しているのに比べて、葛城市は自然が豊富な魅力的なまちだと思います。

【市長】そうですね。全国的に有名な當麻寺をはじめ、博西神社など、すべて挙げると相当な数になります。また、公園については、最近、地震などの災害発生時の避難公園というものが話題になっていて、今後は住みよい環境づくりのための公園整備も進めていきたいですね。

【仲川】當麻寺などの文化財がたくさんあつて、歴史を感じられるところかな。わたしはそんな葛城市が大好きです！

【市長】そうですね。全国的に有名な當麻寺をはじめ、博西神社など、すべて挙げると相当な数になります。また、公園については、最近、地震などの災害発生時の避難公園というものが話題になっていて、今後は住みよい環境づくりのための公園整備も進めていきたいですね。

【中学生全員】なるほどー葛城市の魅力づくりはこれからもっと進むのですね！

【市長】警察の方と連携をとっていいのではありませんか？



【朝隈】わたしは、毎日部活動で帰宅時間が遅くなってしまい、帰り道が暗くてこわい場所があります。市では、防犯についての対策は実施されているのでしょうか？

【市長】警察の方と連携をとっていいのではありませんか？



新庄中学校2年生 瀬川 浩輔くん
生徒会書記。ソフトテニス部所属。好きな科目は英語。

て子どもたちを見守っていく環境づくりも大切だと思っています。小学生の登下校時に高齢者の方に通学路に立っていただいたり、街灯を設置したりして、暗く危険な環境をつくらないように取り組んでいますよ。

【朝隈】そういえば、通学路の樹木が刈られていて見晴らしがよくなっています。あの樹木の刈りとりも防犯対策なのですか？

【市長】はい、そうなんです。防犯対策は、まず犯罪が起これない環境づくりから進めないといけませんね。

【瀬川】都市開発プロジェクトでは、今どんな取り組みをしているのですか？

【市長】近鉄御所線新庄駅とJR大和新庄駅を結ぶ道路の拡幅は旧新庄町のころからの事業であり、尺土駅前周辺の整備も進めていく予定です。また、南阪奈道路が開通しましたので、山麓沿いを農業体験ができる農場として開放するなど、

葛城インターチェンジ周辺の活性化を図り、観光客の増加を目指しています。

【仲川】これから葛城市をどのよう

なまちにしていきたいですか？

【市長】インターネットなどのメディア

アを利用して、瀬川くんが話してくれた菊などの特産品を積極的にPRし、全国に誇れる葛城ブランドを確立したいですね。そして、多くの人々に葛城市の素晴らしさを伝え、もっともつと特徴を生かしたまちづくりをしたいと思っています。

中学生の夢、これからの葛城市に望むもの

【市長】では反対に、わたしから皆さんに質問します。これからどんな葛城市になってほしいと思われ

ますか？

【仲川】葛城市が全国的に有名になり、だれもが一度は行ってみたいと思うまちになってほしいです。

【市長】わたしは、「葛城」という名前が好きです。この名前を全国に発信していきたいですね。しかし、問題は中身です。葛城市のよさをどんどんアピールしていき

ますよ。

【饒波】市外の人が買い物から駅を降りて、「葛城にも寄ろうか」と思ってもらえるまちになってほしいですね。

【市長】今の葛城市には、饒波くん



が思っているような駅を降りてから気軽に立ち寄れる街並みがありません。わたしは、喫茶店や日用品店などが並ぶ市の玄関口を整備する計画を立てようと思っています。まちづくりというのは、考え

【朝隈】高齢者や体の不自由な方など、すべての人が葛城市に住んでいてよかつたと思える、福祉が充実したまちになってほしいです。

【市長】社会状況に応じて対処していくのはもちろん、住民の皆さんが健康で長生きすることが大切です。現在、それぞれの地域には健康づくり推進委員がいて、食事の講習会や料理教室を開き、食生活を見直す健康づくりに取り組んでいます。

【瀬川】旧新庄町、旧當麻町に住む人々が互いに交流できる機会をつくって、もつともつと市全体が団結したまちになってほしいです。

【市長】また市になったばかりなので、市民が一堂に会するイベントなどが無いのですが、これからは旧町それぞれが実施していた商工まつり



などを一本化していうと思っていますよ。

【瀬川】よろしくお話しは変わってしまいましたが、市長さんはどのような子ども時代を過ごされてきたのですか？

【市長】幼いころは、学校から帰るとすぐかばんを放り出して遊びに飛んでいくわんぱく小僧でした。中学校時代は陸上の選手で、走り回るのが好きだったのを覚えています。そして高校卒業後、旧新庄町役場に就職して以来、ずっと職員としてまちづくりに関わってきました。

【中学生全員】市長さんも、わたしたちと同じような子ども時代を過ごされてきたんですね。

【市長】そうですね。皆さんの葛城市への想いはわかりました。本当に素晴らしいまちです。自分のふるさとを誇りに思い、その想いを温め続け、夢を持ってまちづくりに参画して下さい。たとえ葛城市を離れることになったとしても「よいまちだな」と思ってもらえるよう、わたしも努力していきますので、皆さんもふるさとへの想いを胸に持ち続け、頑張ってくださいと思います。あなたたちの未来に期待していますよ！今日は本当にありがとうございました。

【市長】また市になったばかりなので、市民が一堂に会するイベントなどが無いのですが、これからは旧町それぞれが実施していた商工まつり



白鳳中学校 2年生
なかがわ すみよ
仲川 純世さん

生徒会会長。まちのチーム「HAKUHO」でランニングに奮闘中。



白鳳中学校 2年生
の な み た く と
饒波 拓人くん

生徒会副会長。今は水泳部だが、剣道部を復活させたいと取り組んでいる。



新庄中学校 2年生
あ さ く ま め い
朝隈 芽生さん

生徒会会長。剣道部キャプテン。好きな科目は国語。



葛城市施設紹介

人と自然、人と人とのふれあいの中から葛城の文化ははぐくまれてきた。
葛城の文化を発信する、魅力に満ちあふれた施設を紹介。



① 道の駅ふたかみパーク當麻

ふたかみパークに併設する道の駅。地元でとれた旬の野菜などの直売も行われている。



② 福祉総合ステーション

市民が健康で健やかな人生を送ることができるよう支援する、福祉の総合的な活動拠点。



③ 當麻文化会館

研修室や音楽室、和室、創作室、陶芸室などがあり、さまざまな講座や教室、文化活動が行われている。



④ 當麻図書館

市民の本棚として、くらしに役立ち、創造力豊かな子どもを育てる、親しみやすい図書館。



⑤ 當麻スポーツセンター

アリーナ、柔・剣道場、プール、テニスコート、トレーニング室などが完備された総合体育施設。



⑥ 市民体育館

バレーボールやバスケットボール、卓球、バドミントンなど、屋内スポーツを満喫できる体育館。



⑦ 中央公民館

ホールや研修室、会議室などがあり、さまざまな講座や教室が行われ、まちの生涯学習の場になっている。



⑧ 新庄文化会館

客席717席を誇るホールがあり、図書館を併設している。通称、マルベリーホール。



⑨ 新庄図書館

新庄文化会館に併設されている新庄図書館には、AVルームや学習室、研修室、対面読書室などを設置している。



⑩ 歴史博物館

郷土の歴史、考古、民俗などに関する資料を展示し、広く一般に公開している。



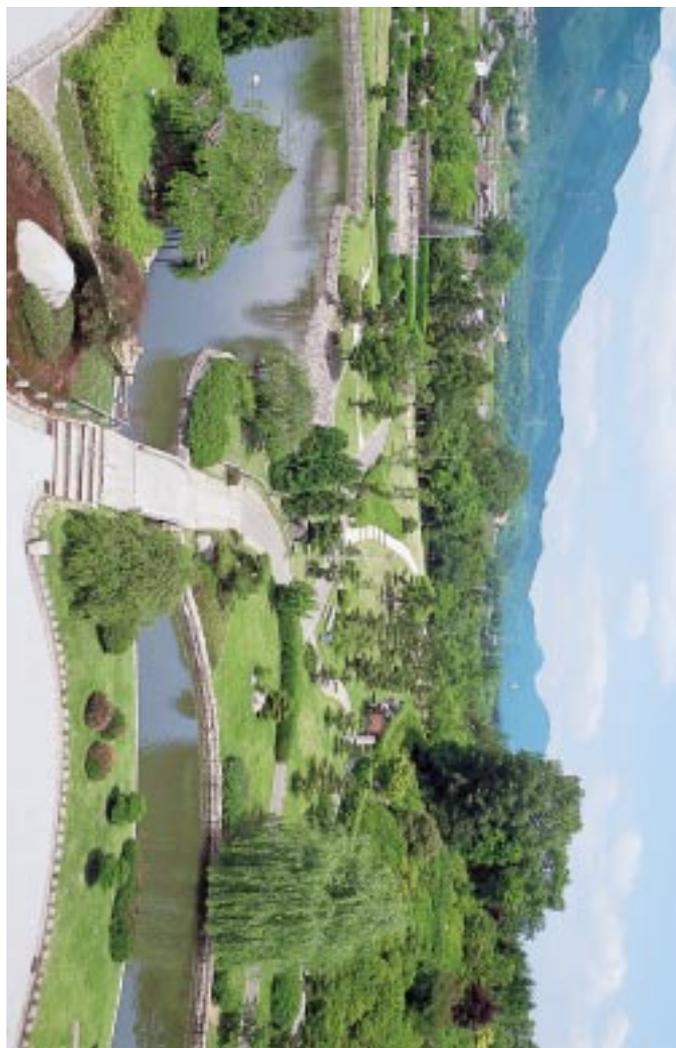
⑪ 体力づくりセンター

体力の維持向上およびスポーツの普及振興を図るため、設置されている。通称、ウェルネス新庄。



⑫ コミュニティセンター

会議室や調理実習室、研修室などを有し、さまざまな講座や教室が行われている。



POST CARD



お手数ですが、
切手を
お貼りください。

POST CARD



お手数ですが、
切手を
お貼りください。

KATSURAGI

當麻寺の東塔と西塔

KATSURAGI

菊

POST CARD



お手数ですが、
切手を
お貼りください。

POST CARD



お手数ですが、
切手を
お貼りください。

KATSURAGI

屋敷山公園

KATSURAGI

竹内街道





かつらぎ

人と自然と歴史を結ぶ、住みたいまち葛城の創造

葛城市市勢要覧

発行:奈良県葛城市

[新庄庁舎]

〒639-2195 奈良県葛城市柿本166番地
TEL:0745-69-3001(代) FAX:0745-69-6456

[當麻庁舎]

〒639-2197 奈良県葛城市長尾85番地
TEL:0745-48-2811(代) FAX:0745-48-3200

<http://www.city.katsuragi.nara.jp/>

発行年月:平成18年3月

制作:(株)日本出版